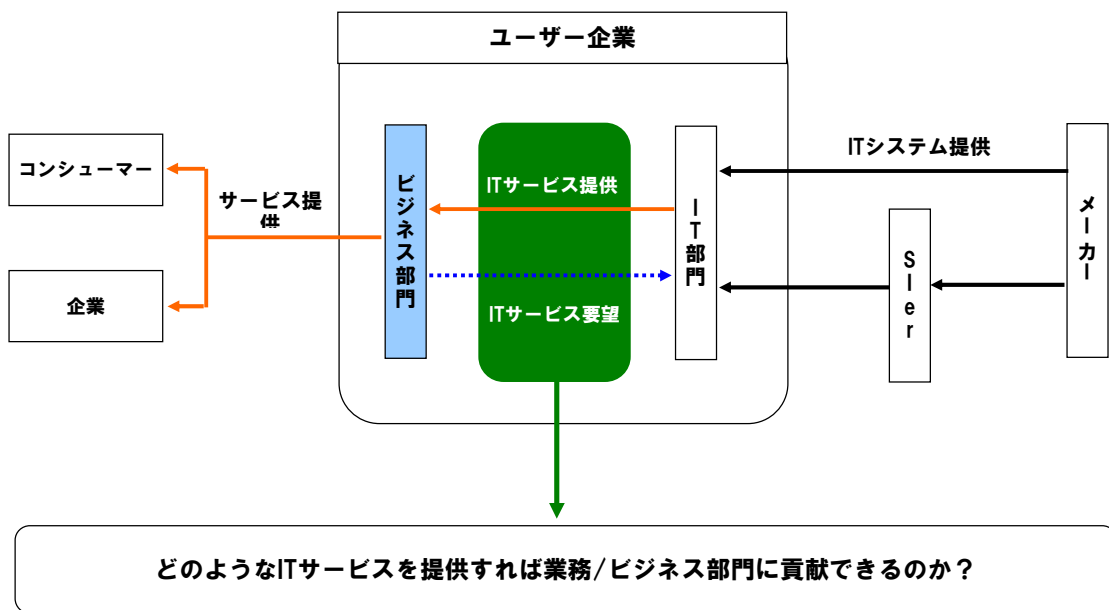


TSR - Press Release

業務／ビジネス部門に貢献するための展開論を発表

～ 業務／ビジネス部門はITコスト削減など求めている ～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは、2011年版サービスマネジメント市場のマーケティング分析を発表しました。



メーカー、SI/VARにとってソフトウェアを販売する相手はIT部門である。そのため、ベンダー側は日々「IT部門の課題点やニーズは何か」を把握し製品を提供している。

『運用管理ソフトウェア』という観点からすると、IT部門の課題を解決していくということに関して大きな問題は発生していなかった。

しかしながら、サービスマネジメントという視点からすると、IT部門の目的が単なる監視や止まらないシステムを提供することに留まらず、ITを利用していかに企業にとってのメリットすなわち売上

や利益に貢献していくことが求められ、IT 部門は業務／ビジネス部門に対して最適なサービスを提供する必要性が高まっている。

その結果、ベンダーであるメーカーや SI/VAR は IT 部門のメリットに加えて、業務／ビジネス部門のメリットが出るようなシステムやソフトウェアの提供、あるいは提案が求められている。

本調査では従来の IT 部門へのアプローチに加えて、業務／ビジネス部門にもアプローチしている。

そこで、業務／ビジネス部門が IT や IT 部門に対してどのようなことに満足あるいは不満を感じているのか？を軸として、業種や規模、部門あるいは各種サービスを深く掘り下げており、満足度が高い業務／ビジネス部門の特性を把握することで

『どのような IT サービスを提供すれば、業務／ビジネス部門に貢献できるのか？』を明らかにしている。

最も驚くべきことは、業務／ビジネス部門は IT コスト削減など求めていないという結果が出たことにある。コスト削減よりも『**もっと IT にお金をかけるべき**』という意見が大半を占めた。

これらの結果を元に、各ベンダーが提供しているソフトウェアがどのように活用できるのかといった点まで踏み込んでいるため、参入ベンダーにとって非常に有用な営業ツールにもなりうる。

さらに、ベンダーだけではなく IT 部門のユーザーにとっても業務／ビジネス部門がどのようなことを IT 部門に求めているのか？を把握することが可能となっている。

【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 幕田範之 (makuta@t-s-r.co.jp) Tel: 03-3851-5651